

「安倍改憲NO! 3000万署名 オール茨城」の取り組み

「オール茨城」事務局を平和会館内に設置 5月末を期して!

安倍改憲NO! 3000万署名を実現しようと結成された「オール茨城」の役員会が2月1日(木)、新たに設定された事務局(平和会館内)で開催されました。

1月12日に結成された「オール茨城」は、全県配布用のチラシを5万枚作成。参加団体を中心に配布を進めています。またカラーの署名用紙1万枚も一緒に活用されています。

今後、3000万署名に取り組んでいる地域の各団体、連絡会、実行委員会等との連絡を取り、茨城県の「70万人の署名実現」を期して、期限の5月末まで最大限の取り組みの核としてがんばることを確認しました。

「いのち輝く茨城の会」・「九条の会連絡会」
・「県市民連合連絡センター」>

■電話：029-350-6682 F ax: 029-350-6683

アドレス：alliba.9iyg@wing.ocn.ne.jp



「東海第二原発再稼働反対チラシ」配布!

— 東海村から報告 —

村内全戸 16,000戸に届ける!! 隔月で、昨年から!



みなさま

現在本当に寒さが厳しいところ、また、どなたも本当にそれぞれお忙しい中、東海村版ニュース配布にご協力をいただきましてありがとうございました。心からお礼を申し上げます。2月初旬には全体の配布(1万枚)が完了する見込みです。拒否の反応や好意的反応など様々ありますが、何もしなかったらつかめなかった反応です。「東海第二原発再稼働ストップは同じだからと言って、こうしたご協力をいただくことはなかなかできないことです。本当に感謝いたします。東海村議会にあった報告を2件、お知らせします。

1件目は、大洗研究センター燃料研究棟における作業員の汚染、被爆事故に関する報告に付いてです。1月25日の議会全員協議会に大洗研究開発センターと東海管理センターから、事故原因や今対応等について説明がありました

2件目は、1月31日付け茨城新聞1面に掲載された「福島県外において保管されている除去土壌の埋め立て処分に関する実証事

業の実施場所等について」です。

東海村では、かねてより村内の阿漕が浦公園ほか6ヶ所に除染土壌が保管されていましたが、これを1ヶ所に安全に保管するにはどうしたらよいか」環境省に相談していました。昨年夏ごろ、環境省から「埋め立て処分の実証事業を行う事としたが、東海村での実施をお願いできないかとの相談があり事業実施に至ったとの事です。実施期間は半年程度とか。

実証事業に使用するのは全体6,898立法メートルのうち、約2,500立法メートルとのことですが、事業実施終了後、残りの分についても原料研敷地内に埋設処分をお願いする予定だそうです。

この件は、議会への説明は今のところなく、簡単なペーパーをいただいたのみです

原子力安全課には「議会に説明した方がよい」という事を伝えました。また議長にも「執行部に説明を求める」よう要請しようと考えています。 **東海村 大名恵美子(会員)**

茨城県平和委員会 第3回 理事会



と き 2018年3月4日(日)

午後1時~4時30分

ところ 県青少年会館 2階中研修室

(水戸市緑町1-1-8 電話029-226-1388)

内 容 年末から年初の取り組みの交流

定期大会(6/17・日)とその間の取組み

・3000万署名・仲間づくり

・東海第二原発廃炉・憲法フェスタ

・核兵器禁止条約・平和行政の要請

茨城県民共同アクション

戦争法廃止! 安倍改憲NO!

東海第二原発廃炉!

と き 2018年2月19日(月)

17:30~18:30

ところ 水戸駅南口デッキ

※誰でも参加できます!

内 容 リレートーク コール パフォーマンス

チラシ配布 テッシュ配布 署名 キャンドル

主 催 戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会

水戸市見川5-127-281 (TEL:029-251-2806)

平和新聞

2018年2月15日(木)

2160号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版 平和新聞茨城版 No. 799

2018.2/15

発行: 茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

春を呼ぶ！百里初午まつり！



300人が結集！
東京からも大型バスで参加
安倍9条改憲を許さない声！



2018年百里初午まつりが、2月11日(日)、百里平和公園で開催されました。

前日の雨にもかかわらず、気温も春めいて風もほとんどない、祭り日和になりました。式典開催の12時近くになると参加者が続々と集まり、東京からは大型バスが到着しました。

式典は、「皆さんからの力を得た。今後も頑張る」との梅沢優百里基地反対同盟委員長の挨拶から始まりました。風邪で参加できなかった百里弁護団長の内藤功弁護士は「百里基地反対闘争の歴史的意義と3000万署名の成功」のメッセージを寄せ、矢萩弁護士が読み上げて紹介し、挨拶としました。

乾杯は県平和委員会の水野秧一郎代表理事。「団結の大きな力で改憲を許さないたたかいを進めよう」と音頭を取りました。

乾杯のあと、百里基地反対連絡協議会に参加している団体を中心に挨拶が続きます。県平和委員会を代表して伊達郷右衛門代表理事が、「百里基地反対の運動が続けられた力の中心に、『どんなに苦しくとも委戦争準備のための土地は売らない』という満蒙開拓に追いやられた中から生まれた強い決意があった」「百里の稲荷は『平和』の稲荷」と挨拶しました。



農民連からは入江赴史さんが若い力で挨拶。「僕たちに若い仲間を力の下さい。生活維持に追い込まれている若い仲間と平和を守っていききたい。」と訴え大きな拍手に包まれました。

社民党、共産党の挨拶もあり、それぞれに「憲法9条改憲を許さない」「東海第二原発に再稼働を許さない」「3000万署名を成功させよう」などの決意を表明しました。

志位典終了後、歌とリレートーク。司会の大名さんと演奏のヒューマンファーマーズが雰囲気盛り上げ、次々に歌がとび出し、豊かな交流の場となったと同時に、「9条改憲反対」の決意を固める場になりました。

百里反対同盟から祝い酒、現地で蒸した60kgの赤飯の差し入れもあり、また団体直営の出店も出され、心も体も暖かくなった百里初午まつりでした。



沖縄・名護市長選への支援 ありがとうございました！

稲嶺ススム氏

「まだ止められる。諦める必要はない！」

沖縄・名護市長選は1月28日(日)告示、2月4日(日)投開票でたたかわれました。

稲嶺進氏(社民・共産・社大・自由・民進=推薦 立憲=支持)は、16,931票を獲得しました。渡具智武豊氏(自・公・維推薦)は、20,389票を獲得して当選しました。得票差は3,458票(前回4155票差)です。

有権者は48,781人(男性:24,025人、女性:24,756人)で、最終投票率は76.92%。前回より0.21%増です。

今回の選挙は、多くが「期日前投票」でした。当日有権者の44.4%(21,660人。男:10,235人女:11,425人)が期日前に投票しています。前は15,835人ですから、10.41%(5,825人)増です。因みに投票者総数に占める割合は57.2%(13.41%増)で、6割近くの有権者が期日前に投票したことになります。

稲嶺氏は2期8年にわたり、市民の生活と未来を守るため、辺野古基地建設反対の先頭に立ち、基地交付金に依存しない街づくりを進めて来ました。今回の市長選挙では辺野古新基地建設の是非は最大の争点です。しかし渡具智氏は「NGワードは、辺野古移設」「辺野古の『へ』字も言わない」(渡具智陣営の内部資料)というように、「基地移設の是非」には一切触れず、徹底的な争点隠しを行いました。その一方で、米軍再編で負担が増える自治体に交付される「再建交付金」を使った「町おこし」を宣伝しました。「再建交付金」は、2010年の名護市長選で、稲嶺氏が当選すると同時に国は交付をストップしていたものです。

稲嶺氏は「護岸工事は進んでいる状況だが、埋め立て面積はまだ1%に満たない。まだ止めることができる。あきらめる必要は絶対はない」と強調しました。実際、選挙に当たり琉球新報社が合同で実施した世論調査では66%が、「辺野古基地移設反対」「どちらかという反対」と回答しています。

今年11月は沖縄知事選挙です。翁長知事は「名護市の市長選の結果にかかわらず、名護市辺野古の新基地建設に反対する姿勢に変わりはない」との認識を示し、知事選や衆議院選などの全県選挙でくりかえし示してきた反対の民意を前提に「民意を背負っており、そのベースが変わることはないと思っている」と述べました。

「かわら版」への川柳投句について

役員の皆様。事務局に勤務の皆さま大変ご苦労様、今冬は、寒さと他の気象現象はことさら特異でありますので、お身体には充分留意して下さい。名護の結果は、大変でしたが、相手方は相当必死の仕掛けで来たものと思われ、これからが尚一層の大仕事 awaits のかと思えます。さて、拙句を並べてみましたが、今後のかわら版は、沖縄や百里の特集が、組まれると思えますので、その後に、余白が生まれた時に、宜しくお願いします。

乱筆拙文ご容赦を！ 2018年2月 常陸太田平和の会 福田巨男

近代化 小型化しても
 核は核
 思い遣り 予算で沖縄
 この仕打ち
 学び子へ 標的の島の
 危機増して
 交付金と弾圧
 名護の市民へ 巨大基地
 交付金と弾圧
 辺野古の市民を目眩ます

